

## 岩手県岩泉町安家地区緊急支援活動報告（2016年9月24日）

本日は、9月17日の先遣隊で被災状況とボランティア活動状況を確認してきた岩手県岩泉町安家地区での緊急支援活動です。今回の活動は岩泉町岩泉高校で勤務している本学の卒業生のボランティア要請を受けて、先遣隊が現地確認を行った上で支援活動に至ったものです。

秋晴れの下、弘前市をいつもより30分早く、6時15分に出発しました。心配された途中の道路状況も良好で、予定したより少し早めの9時45分には安家地区のボランティアステーションとなっている安家産直施設に到着しました。参加者は学生10名、市民21名、教員1名の32名でした。ボランティアステーションには、我々のグループの他に、岩手県社会福祉協議会などの団体が数チーム入っていて、総勢約130名が参加したそうです。



移動中の車内の様子

この日、我々に与えられた作業は、個人宅2件の泥上げと、商店1か所の清掃作業、そして安家へき地保育所の園庭の泥出しと清掃作業でした。個人宅には8名ずつの2チーム、商店には10名、保育所には6名が作業に当たりました。ボランティアステーションから各現場までは徒歩で移動しました。一番遠い現場までは約20分程度でした。

個人宅の現場に着くと、すでに別のボランティアが作業を開始していました。最初に、作業中の方から作業の大まかな流れを聞いて作業に取り掛かりました。泥出しのチームでは、床下の泥を土のう袋に詰めて、外の庭にリレー形式で運び出していました。また、一番大変だった現場では、床下に潜って泥水をかき出し、それをリレー形式で運び出していました。両現場とも、一日中泥出しの重労働だったようです。本当にご苦労様でした。

商店での作業は、泥出しと、汚れた商品棚や家具などの清掃作業がメインだったようで



す。清掃しなければならない部屋が多く、10人で一日かけて8割程度の作業を完了したようでした。

そして、私が行った保育所では、午前中は比較的軽い作業でした。保育所の周りに、5センチほど溜まった泥をかき集め、一輪車で運び出しました。顔なじみのベテランボランティアたちがチームワークよく、作業を進めていました。また、作業が終わったところは綺麗になっていて、達成感を味わうこともできて楽しく作業をさせていただきました。

午後から取り掛かったのは、保育所の側面で、砂利を敷いていた花壇のようなものでした。50センチほどの幅の花壇に綺麗な砂利を敷いていたようですが、その上に薄く泥がかぶっていました。最初は簡単に取り除けるだろうと思ったのですが、スコップですくうとせっかく敷いた砂利も同時に捨てることになってしまうので、スコップですくって、砂利だけを一つ一つ手作業で戻すように作業を進めました。しかし、砂利にへばりついた泥は全く取り除くことができず、汚れたままでした。そこで、ボランティアステーションに伺ったところ、少しでも砂利を洗って戻してみてもと指示がありました。指示に従って、砂利をバケツに移して、水で一つ一つ洗い、砂利の下の泥を取り除いた花壇に戻す作業に取り掛かりました。

しかし、作業は思うようになかなか進まず、6名で1時間一生懸命作業に取り掛かりましたが、全体の1割も終了できず、終了時刻を迎えました。最後はみんなで汚れた道具を洗い、そして玄関先など作業で汚した場所をきれいにして、ボランティアステーションに戻りました。達成感どころか、心残りで後ろ髪を引かれる思いでいっぱいでした。

帰りのバスの感想では、厳しい現場で重労働だったけどやりがいのある作業だったという話が数多く聞かれました。また、連絡事項としては、次回の活動日が10月8日(土)と10月29日(土)であるというアナウンスが事務局からありました。大変でしたがやりがいのある充実した1日でした。本当にお疲れ様でした。

(文責:李 永俊)